

わ く わ く

10月号

本 だ な

1 2 3 年



E 『 ホテルイカ 』

えほん
林木林／作 山口亜耶／絵 絵本塾出版
イカいっかの一家はいかだのに乗って、イカにも新あたらしいくホテルイカきたにきました。プールやエステに、イカなくちゃ。レストランでは、名物めいぶつりょうりをイカだていでんきま一す。ところが、とつぜん停電でまっくらになり、タコデビルがあらわれたのです。

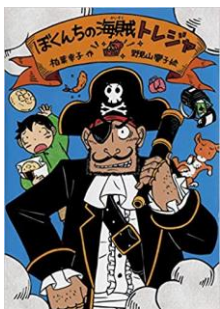
K913 『 となりはリュウくん 』

ものがたり
松井ラフ／作 佐藤真紀子／絵 PHP研究所
レミてんこうせいのとなりのせきは、転校生のリュウくん。リュウくんはレミしゅくだいの宿題をかってにうつしたり、からあげをとったりします。さつまいもほりの日ひ、レミはおなかぶんがいたくなって、トイレに行くことに。「リュウくんが、わたしの分ぶんもいもをほっちゃう」。



K913 『 ぼくんちの海賊トレジャ 』

ものがたり
柏葉幸子／作 野見山響子／絵 偕成社
良太りょうたの家に空いえから船そらが落ふねちてきて、中おから海なかぞくトレジャいぬがあらわれました。らんぼうおおくで大食いのトレジャは、良太と犬のチロあおにしか見みえていないようです。良太は、トレジャといっしょあおに「青あおくて四角しかくでうたう」たからものをさがすことになります。



E 『 としょかん町のバス いこうよがっこうとしょかん3 』

ちしきのほん
イクタケマコト／絵 横山寿美代／監修 少年写真新聞社
としょかんほんの本は、きょうりゅう、おり紙がみなど、内ないようによって10のなかまわに分ぶんけられ、分ぶんるい記号きごうという数字すうじがつけられています。この本では、それぞれの数字を町まちにたとえて、バスでめぐります。あなたも、図書館町のたんけんに出かけましょう。



わ く わ く

10月号

本 だ な

4 5 6 年



物語



K933 『本気でやれば、なんでもできる!?』

ジョン・ヨーマン／作 ケンティン・ブレイク／絵

三原泉／訳 徳間書店

図工の時間に集中していなかったビリーは、かごをうまくあめませんでした。でも、先生に、いっしょうけんめいやればなんでもできると言われて、すっかりその気になります。

友だちに、「じゃあ、頭に角をはやせる？」とたずねられ、ビリーはできると答えます。次の日の朝、ビリーの頭には、こぶが二つできていました。

物語

K913 『トクベツな日』

白矢三恵／作 スカイエマ／絵 PHP研究所

ふたばは、にんちしょうのおばあちゃんと暮らすために引っこしてきました。もうすぐ〈もみじ給食〉といって、お年寄りを学校にまね招いて、いっしょに給食を食べる行事があるそうです。

おばあちゃんのことをみんなにかくしたい二葉。学級委員の真央が、サプライズで二葉のおばあちゃんをもみじ給食に呼ぼうとしていることを知り、言いあらそいになります。



ちしきの本



K369 『わたしが障害者じゃなくなる日』

難病で動けなくてもふつうに生きられる世の中のつくりかた』

海老原宏美／著 旬報社

障害ってなんでしょう。体のどこかが悪いことでしょうか。おなかの大きなにんぷさん、よちよち歩きの子ども、言葉の通じない外国人も、生活する中で困ったり、不便だったりします。

筋肉の難病で車いすに乗り、人工呼吸器をつけている海老原さん。海老原さんの人生から、障害のある人もない人も楽しめる、もっと生きやすい世の中を考えます。

図書館のまどぐちには、くみたとると本になる「わくわく本だな」もあるよ。

ホームページもみてね！〈編集・発行〉富山市立図書館 富山市西町5番1号 電話 076-461-3200